

全力で突っ走れ！ 折乃笠部長

## 富士山歴訪の旅

### 1. 大月秀麗富嶽十二景登山の旅

2012年

【3】八番 岩殿山 4月30日(月)



## 目次

## 【1】目的

- (1) 更なる大月発見
- (2) 大月市民特性の地理的背景
- (3) 何事にも目的を持ってチャレンジ

## 【2】大月市秀麗富嶽十二景 十九峰 地図

【3】	八番 岩殿山	4月30日(月)
【4】	六番 扇山	5月19日(土)
【5】	十一番 高川山	5月26日(土)
【6】	七番 百蔵山	6月10日(日)
【7】	八番 お伊勢山	7月14日(土)
【8】	十番 九鬼山	8月4日(土)
【9】	九番 倉岳山 高畑山	8月13日(月)
【10】	二番 牛奥ノ雁ヶ腹摺山 小金沢山	8月16日(木)
【11】	五番 奈良倉山	8月18日(土)
【12】	十二番 清八山 本社ヶ丸	9月1日(土)
【13】	四番 笹子雁ヶ腹摺山	9月9日(日)
【14】	一番 雁ヶ腹摺山 姥子山	9月29日(土)
【15】	三番 大蔵高丸 ハマイバ	10月6日(土)
【16】	四番 滝子山	11月2日(金)

## 【17】考察

- (1) 更なる大月発見
  - ①全体を通して
  - ②秀麗富嶽十二景 日本一富士山が美しい十九の峰
  - ③大月の文化
  - ④悲しみの森
  - ⑤まとめ
- (2) 大月市民特性の地理的背景
- (3) 何事にも目的を持ってチャレンジ
  - ①心意気
  - ②チャレンジ ベスト5
  - ③失敗 ワースト5
  - ④楽しかった ベスト5

## 【18】まとめ

### 【3】秀麗富嶽十二景 八番 岩殿山

2012年4月30日

全工程徒歩

自宅 → 岩殿山登山口 → 岩殿山 → 天神山 → 稚児落とし  
→ 浅利つり橋 → 自宅





## 八番 岩殿山

5時45分起床 曇

外は朝の清々しさで、寒くも無く暑くも無く。  
絶好の登山日和。

まずは、朝カレーを食べてエネルギー補給。

6時7分

賑岡浅利地区の我が家を出発。

我が家→岩殿山→我が家 全工程徒歩。

見慣れた景色も何故かさわやか。

6時21分

早くも道の行く手に岩殿山が見える。

標高634m。東京スカイツリーと同じなんだと。

鏡岩の大岩壁が見える。

6時23分

大月駅の裏側を通過。

特快東京行きが出発して行った。

6時35分

岩殿山登山口に到着。

振り返ると雲に包まれた富士山が薄っすら見える。

いよいよ登山開始。

階段になっていて登りやすい。

富士山や大月の街並みを観ながら楽しく歩く。

6時45分

中腹の丸山公園着。

ここは桜の名所で有名、今も若干桜の花が残っている。

また、郷土ふれあい館があり、郷土ゆたかな

プラネタリウムがある。

朝まだ早いため、登山者はおじさんとおばさんの  
二人しかいない。



浅利入口バス停から浅利地区を望む  
右の山が今日のルート of 天神山



大月駅裏側より岩殿山を望む



岩殿山登山口



丸山公園入口

ここで、少し休憩して出発。  
既に汗をかいている。

7時7分

秀麗富嶽十二景 八番 岩殿山頂に到着。

山頂岩殿城跡まで約三十分。  
丸山公園からの山道は、勾配が急でほんときつい。  
気温は涼しいが大汗、途中3回ピバーク。



ポスターを撮影

曇っていなければ、こんな景色です

関東三名城の一つ。攻めにくく守りやすい。

当時、小山田氏の功績。

築城にあたっては相当の労力と費用が掛かっていると考えられる。

何故この様な険しい山の山頂に城を築いたのか？

確かに360度周りの山が伺える。すぐそばに富士山。相模の山々。

のろしの拠点としても有名。

十世紀に建てられた円通寺との関係も大きく影響される。

いずれにしても、この岩殿山築城とその運営が小山田氏及び  
郡内大月市民を知る鍵になると考えられる。

難攻不落の要害城と呼ばれた理由がよくわかる。

頂上から薄っすらと富士山が見える。

左右対称の姿が美しい。

山々の黄緑が輝いている。

春のよろこびを感じる。

見下ろす我が街大月の街並みも美しい。

秀麗富嶽十二景 八番 素晴らしい景色で  
ある。

7時20分

山頂出発。



大月の街並み 遠くに薄っすら富士山が見える

7時22分

少し下山し、兜岩、稚児落とし方面に分岐。

7時40分

ロッククライミングを体験。

岩を鎖を頼りによじ登る。結構、危険である。

7時55分

やっとの思いで兜岩頂上に到着。

断崖絶壁。高所恐怖症の小生にとって足がすくむ。

とにかくスケールが大きい。



岩を鎖を頼りによじ登る

8時00分

天神山592m山頂。

家から大月駅に行く時、いつも見上げている山である。

8時17分

小さなお社を発見。

それにしても急な登り坂がきつい。

10m進んでは止まっている。

息がきれ続けて、心臓がバクバクである。

8時45分

稚児落しの頂上。

それにしても凄い岩の絶壁。

足がすくんで前に出ない。

ここで、稚児を落としたと思うと

残酷極まりない。



稚児落しの岩壁

小生の論文より

『信茂自害後の一族』

1582年3月11日、武田氏が田野において自刀し、小山田氏も

20日甲府善光寺の露と消え、岩殿城に残った一族一党は

三々五々姿を消したのであろう。

しかし、身分や名のある武将や婦女子は身を隠すすべもなく夜陰にまぎれ、

兜岩から稚児落とし岩壁方面へと逃げた。

追跡の敵兵の探索は厳しく、夫人は止むなく涙ながらに子どもを岩窟に投げ、

その場を去ったと言う。最後に子どもに末期に水を飲ました所を水くれ堂という。

夫人はツヅラを置き去った峠をツヅラ峠という。

夫人は北東の郷古和田東光寺に身を寄せ、静かに世を去った。

墓は最近までこの寺にあったという。

岩窟に置き去られた稚児は立派な鎧兜を身につけていたが、浅利の郷で成人したという。

今のこの伝説の道は陰しく、鎖場の道であり五百年たった現在も人々の心に残る岩殿城の物語である。

「稚児」という名称はこの北富土地方は縁のない言葉で、領主級の子供だけに用いる敬称でしかも、この地方の人たちにはなじみのない言葉であった。』

8時55分

下を見渡すとあった！

折乃笠の家が見えている。

もう少し下れば浅利の郷だ。頑張ろう！

それにしてもきつい山道である。



浅利 折乃笠の家

9時5分

浅利の郷着。つり橋を渡ると今日の昼、

地元の友人たちと飲み会をする松野屋

がある。

途中、近所のおばさん達と世間話をする。

あせびっしよりの小生を見て不思議

がっている。

友人の家に寄り道。

お茶のお誘いがあったが、昼からのビールに

賭けているので丁重にお断りして、お昼に

再開を約束。



浅利名物 つり橋

隣りのおばさんたちの井戸端会議の中を通過。

「そんなカッコしてどこへ行って来たの？」

「ちょっと散歩で岩殿山～兜岩～稚児落としへ」



「???'」

9時25分

家に到着。予定より30分早いため家内もびっくり。  
その後、さっきのおばさんから労いの煮物が届く。

秀麗富嶽十二景 八番 岩殿山

初回の登山はこうして平和に終わりました。

その後の飲み会のビールは最高でした。